

観察会報告
静岡市高山市民の森自然観察会
横山謙二



間近でみられたニホンカモシカ

5月12日、静岡昆虫同好会との共催観察会を高山市民の森にて行いました。幸い天気恵まれ、18名もの参加者がありました。この高山市民の森には、高山の自然や森のはたらきについて学べる学習展示施設『森の恵』があり、ハイキングコースも整備され、季節ごとにさまざまな動植物が観察できます。以前に観察会でここを訪れた際には、野生のニホンザルが見られたこともあります。また、山頂の展望台では9月下旬から10月上旬にかけて、南方に渡っていく途中のサシバやハチクマが群れでみられることもあるそうです。

このようなところなので、今回は何がみられるか楽しみで、私は観察会が始まる4時間前には高山に到着して、少し薄暗い朝の高山で一人で観察会をはじめていました。

一人観察会をはじめ、早々に、突然ニホンカモシカが姿を現しました。ニホンカモシカは、私が近づいても怖がらず、逃げるそぶりも見せないまま、どうどうと草を食べていました。このカモシカは観察会の最後のほうにも、再び見ることができました。

カモシカが去った後、ガビチョウやコジユケイ、カケスなどの野鳥、そして『森の恵』付近に設置したトンボ飼育水槽上の木の枝には、モリアオガエルの卵塊が観察できまし

た。

その後、駐車場近くでセアカツノカメムシなどの昆虫を観察していると、まだ午前8時ぐらいにもかかわらず、観察会参加者の一人平井さんも、やって来ました。平井さんに甲虫のことを教わりながら、ヨツボシクスイやオオセンチコガネなどの甲虫を見ることができました。

やがて10時には参加者全員が集まり、観察会がはじまりました。観察会は、『森の恵』わきの道から山頂に登り、最後に竜伝説のある池に行くコースです。

山頂に登る道の途中では、大きな動物の糞と思われるものにムネアカオオアリが群がっているところやカラスアゲハが羽化しているところなどが見られました。その後山頂で食事をとり、観察をしながら池に向かいました。池では、アカハライモリやマツモムシが観察できました。

池での観察後、参加者の皆さんとまとめをし、解散になりました。今回の観察会では、昆虫を中心に約30種を見ることができました。その中には平野部では見られない昆虫も含まれていて、なかなか楽しい観察会でした。



カラーだと背が綺麗な赤色したセアカツノカメムシ

